

旧小坂小を介護予防交流施設に改修

改修費用は5000万円

6月議会定例会は6月24日から27日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、「旧小坂小学校を介護予防交流施設に改修する補正予算」や「特殊勤務手当の支給を再開する条例改正」など19議案が提出され、すべて原案どおり可決、同意、決定しました。

一般質問では6人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をただしました。



平成26年度補正予算

平成26年度補正予算のうち、一般会計（第1号）は、1億5132万円を増額し、予算総額131億7132万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な増額は、旧小坂小学校の改修5000万円、2月雪害による農業被害補助4120万円などで、その財源は補助金と基金（貯金）です。

質疑

旧小坂小の改修内容は

問 (阿部泰藏議員)
旧小坂小学校改修

費5000万円の内容は。

企画情報課 課長 旧小坂小を福祉ゾーンとして、介護予防などの軽運動の器具を設置し、地域の憩いの場とするもの。

その財源は、県補助金3000万円と町復興基金（貯金）2000万円。

防犯・防火への対応は

問 (渡辺勝弘議員)
廃校利用には防犯・防火設備が必要だと思

うが、その予算は含まれているのか。

企画情報課 課長 今後、管理上、安全上からもシャッターなどを設置し、安全を確保したい。

施設の管理はどうするのか

問 (渡辺勝弘議員)
この施設の管理はどうするのか。

企画情報課 課長 今後、協議会などを作り、地元の人たちと相談しながら運営や改修を進めていきたい。

耐用年数を延長するには

問 (渡辺勝弘議員)
旧小坂小の耐用年数は15年くらいと聞いた。その改修に5000万円も使うのか。

それより外壁や耐震構造に使い、耐用年数を延ばしてはどうか。

企画情報課 課長 地域の高齢者が元気に過ごせれば5000万円の投資は理解してもらえると考える。耐用年数は、15年後に、施設の継続が必要であれば検討したい。

町長 小坂地区には国見の里もあり、高齢者



(中央)介護予防や地域の憩いの場に活用される旧小坂小学校
(右・特別養護老人ホーム「国見の里」、左・泉田中町内会の「いきいきサロン」)

ゾーンとしてまちづくりを考えている。
また、小学校は地区の寄りどころであり、地域の子どもから高齢者までが交流できる場にしていきたい。

※番号法への対応は

問

(村上晴夫議員)

番号法システム改

修費3324万円の内容は。

課 企画情報

長 国の番号法に
対応するため、

今年度にシステムを改修するもの。来年度にはサーバーなどの機器整備を予定し、2カ年で対応する。

※番号法とは

平成28年1月から社会保険、税、災害対策などの法律に定められた事務に限って個人識別番号(マイナンバー)を利用し、行政の効率化と国民の利便性の向上をはかるもの。

個人情報保護は万全か

問

(村上晴夫議員)

番号法開始によって町に義務付けられる特定個人情報の漏えい防止への対応は。

課 企画情報

長 現在も個人情報
報やプライバシー

シーを守るため様々な対応をしている。

番号法開始後は、国が設置する第三者機関へ利用方法などに問題がないか報告が義務づけられる。

農地中間管理の

取り組みは

問

(浅野富男議員)

今年度からはじまる農地中間管理事業の内容と農業委員会の関連は。

課 産業振興

長 町が農地の貸
し借りや規模拡

大などの意向を調査し、どの農家や地区に配分するか計画を作るもの。その策定を県の中間管理機構に願います。

町だけでは対応できない

ため、農業委員会や関係機関と連携して取り組みたい。

雪害補助の内容は

問

(村上晴夫議員)

雪害への補助事業

4120万円の積算内容は。

課 産業振興

長 対象物件は80
件、農家数は約

40戸。主な被害はビニールハウスで、その撤去費用や修繕、新設などが対象となる。昨年度からの繰越予算

500万円に追加するもの。

歴まち委託料の

内容は

問

(松浦常雄議員)

歴史まちづくり推進委託料の具体的な内容は。

課 企画情報

長 計画書の挿絵
や表の作成、歴

史まちづくり計画を理解してもらおう講演会や大学講座の開催、パンフレット作成などを委託するもの。

平成26年度一般会計 補正予算(第1号)の主な内容

【主な事業】

・旧小坂小の介護予防施設への改修	5000万円
・大雪によるビニールハウス被害などへの補助金	4120万円
・番号制度導入のためのシステム改修	3324万円
・木造住宅を耐震改修するための補助金	926万円
・歴史まちづくりを推進するための委託料など	518万円
・人・農地プランを策定するための委託料	253万円
・女性100人応援団ツアーの費用	200万円
・アンポ柿加工に向けた生産管理の補助金	170万円
・その他	621万円
計	1億5132万円

【主な財源】

・国・県からの補助金	9051万円
・基金(貯金)の取り崩し	2000万円
・前年度からの繰越金	3549万円
・その他	532万円
計	1億5132万円